

小笠原諸島 ～ 伊豆諸島 ツバメの渡り調査 2019

申請者：重原美智子

■ はじめに ■

- 1、申請者は、2018年の春、島民のみなさんから240件のツバメの観察記録をいただいて、小笠原諸島と伊豆諸島の、各島のツバメの初認日、観察日、羽数などを調べました。ツバメは小笠原では2月下旬、伊豆諸島南部では3月上旬、北部では3月から4月にかけて、初認されました（右図）。この結果は、ツバメが島伝いに北上したことを示しています。
- 2、三宅島では繁殖調査を行いました。繁殖の開始時期が内地よりかなりおそいことがわかりました。
- 3、小笠原では越冬はしていないので、春に観察されるツバメは、小笠原より南のどこかにある越冬地から飛来していると考えられます。

■ 調査の目的 ■

小笠原諸島、伊豆諸島の島民のみなさんと協力して、太平洋の大海原を渡るツバメの生態をしらべます。昨年の調査を発展させ、伊豆諸島でのツバメの飛来時期と繁殖開始時期との関係を探ります。

島ごとの
ツバメ初認日
2018





■ 島民のみなさんと協力して行う調査 ■

1、島民のみなさんをはじめ、研究者、バードウォッチャーのかたたちと協力し、ツバメの観察記録を集めます。小笠原諸島、伊豆諸島でツバメを観察したらメールで、日にち、場所、羽数、などの情報を送っていただき、それぞれの島でのツバメ飛来の初認日などを調べます。

2、2018年の調査では、ツバメは3月10日に三宅島に現われました。ところが5月下旬に三宅島で巣をしらべたところ、観察したすべての巣が繁殖の初期段階でした。繁殖開始に時間がかかるのは、何か理由があるのでしょうか？2019年は三宅島以外の島でも巣を探して繁殖調査も行い、飛来時期と繁殖開始時期の関係を探ります。

■ 人の観察からわかる島のツバメの生態 ■

人が観察し、鳥と島をつなぐ調査です。2018年の調査の結果も、島民のみなさんが日常で観察された情報が元になっています。2019年も同様に島伝いにツバメが北上している結果が得られるのであれば、たしかにツバメたちは小笠原、伊豆諸島を經由して越冬地と繁殖地を結ぶ渡りをしていると言えるでしょう。もしちがう結果であっても、島のツバメの生態をすこしでもあきらかにできます。

また、ひきつづき過去の観察記録や文献なども調べています。

海外の越冬の可能性のある地域の記録も調べ、それらを総合して太平洋のツバメたちの渡りの生態を少しでもあきらかにします。結果は、日本鳥学会などで発表いたします。

調査への参加者
募集しています！

